

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 430 号	氏名	Duc Tuan Dinh
学位審査委員	主査 西田 教行 副査 平山 謙二 副査 中込 治		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、Loop-Mediated Isothermal Amplification Method(LAMP)法を応用し、高病原性鳥インフルエンザ(A/H5N1)の迅速診断法の開発と改良を行い、ベトナムをはじめ途上国での簡便かつ迅速な診断方法としての有用性を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 H5N1 インフルエンザウイルスのヘマグルチニン(HA)遺伝子の比較的に安定な領域を同定し、プライマーを設計後、LAMP法の感度を種々の分離株を用いて検討している。また臨床検体での感度特異度検定を既存の検出法と比較検討しており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、今回開発したLAMP法が高感度でA/H5N1を検出し得ることを示し、他のA型インフルエンザウイルスはじめ鑑別を要するウイルスには偽反応を示さず、特異性が高いことを示した。臨床検体を用いた検討からも感度、特異度ともに高く、WHOが推奨するPCR法と遜色ないことを明らかにした。LAMP法はPCR法と比べ高額な機器を必要とせず、低コストで実施でき、かつほとんどの陽性反応が30分以内に認められ簡便かつ迅速な方法であり、H5N1診断への応用に成功したことは、途上国のみならず世界的にH5N1サーベイランスを確実に実施するために多いに貢献すると思われ、今後の進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文はウイルス学および国際的保健公衆衛生学に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			